

地域で、いろいろな活動をしているみなさん！

# 災害が起きたらどうなるか 話してみませんか？



分科会 No.11

毎年のように自然災害が日本のどこかで起きています。東京でも首都直下地震が懸念されている中、東京都災害ボランティアセンターアクションプラン推進会議では、「災害時のための市民協働 東京憲章」を策定し、多様性の尊重と平時からの取り組みをうたっています。地域でいろいろな活動をしているみなさまと、災害時に活かせるチカラを考えます！



○開催日時：2月12日（土）13：00～15：00

○場所：オンライン（zoomを利用）

○当日のプログラム：

柴田 裕子さん（認定NPO法人ジャパン・プラットフォーム（JPF）  
緊急対応部 部長）

- ・ 2003年より日本のNGOに勤務、多くの国で人道・開発支援に従事。2012年にJPFに入団、2017年より現職、国内外の災害、人道支援を担当。当日は、東京憲章についてお話しいただきます！



三藤 和寛さん（武蔵野市民社会福祉協議会 ボランティアセンター武蔵野  
センター長）

- ・ 2010年、武蔵野市民社会福祉協議会に入職。市民と協働した災害ボランティアセンター運営を目指し、市民団体等とのつながり作りを進めています。当日は、平時の取り組みについてお話しいただきます！



宮平 玲那さん（沖縄県浦添市立 森の子児童センター 館長）

- ・ 保育士を経て、浦添市児童センターに就職。令和2年より、（一社）まちづくりうらそえ理事、現職。当日は、中学生の声から始まった地域を巻き込んだ取り組みについてお話しいただきます！



← 東京憲章はコチラから  
ぜひご覧ください！

## ■ 日時・会場・参加費

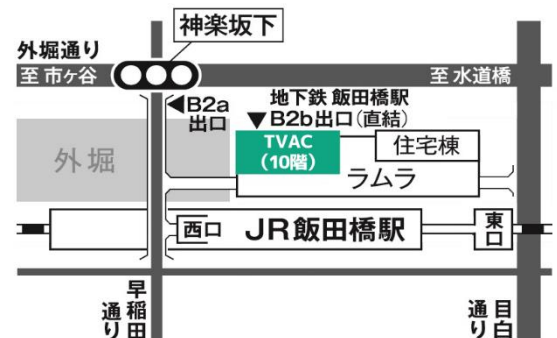
- 分科会名： 地域で、いろんな分野で活動しているみなさん！  
災害が起きたらどうなるか話してみませんか？
- 日 時： 2022年2月12日(土)13:00～15:00
- 参加方法： オンライン(Zoom)
- 定 員： 40名(オンライン)



## ■ 市民社会をつくるボランティアフォーラム TOKYO 2022 について

「分科会11：地域で、いろんな分野で活動しているみなさん！災害が起きたらどうなるか話してみませんか？」は「市民社会をつくるボランティアフォーラムTOKYO2022」の分科会の一つです。このフォーラムでは、暮らしの中から見えてきた社会課題について、私たちに何ができるのかを一緒に考えていきます。今年のテーマは「みんなで考える。だから、オモシロイ。」みなさまのご参加をお待ちしています。

- 開催期間 2022年2月11日(金祝)～13日(日)
- 会場 オンライン(Zoom)
- 参加費 1分科会1,000円 \*高校生以下または、18歳未満の方は無料
- 企画画 ボランティアフォーラム TOKYO 2022 実行委員会
- 主催 東京ボランティア・市民活動センター
- アクセス JR総武線 飯田橋駅 西口改札右手  
地下鉄 有楽町線・東西線・南北線・  
大江戸線 飯田橋駅 B2b出口
- 特設サイト <https://www.tvac.or.jp/vf/>
- Twitter 「@voluntaryforum」
- Instagram 「@voluntaryforum」
- Facebook 「@voluntaryforumtokyo (市民社会をつくるボランティアフォーラム tokyo)」



## ■ 参加申し込み方法

- 「分科会11：地域で、いろんな分野で活動しているみなさん！災害が起きたらどうなるか話してみませんか？」への参加を希望される方は、右のQRコードからお申込みください。(同時にほかの分科会への参加も申し込むことができます)
- 参加費の支払いが完了すると、参加券がダウンロードできます。
- ホームページからのお申し込みが難しい方は、以下までお問い合わせください。



.....  
[お問い合わせ・お申し込み先] 東京ボランティア・市民活動センター 榎本・色部・上原・熊谷  
〒162-0823 新宿区神楽河岸1-1 飯田橋セントラルプラザ10階  
TEL 03-3235-1171 FAX 03-3235-0050 HP <http://www.tvac.or.jp/vf/>  
\*特設サイトからお申込できます